

# モンゴルと出会えて

日本大学三島高校 松本 和佳

今日からモンゴルだ。心を弾ませ空港に向かった。ところが、台風の影響で乗るはずの飛行機が欠便になってしまった。何かしらのハプニングは起こるだろうと思ってはいたけれど、まさか日本で起こるとは想定外だった。その日は近くのホテルに泊まることになり、翌日のフライトに備えることにした。しかし私達は修学旅行のような気分でカードゲームをして盛り上がった。



翌日、モンゴルへ行く便が飛ぶことが決まった。ハプニングのおかげですっかり皆と打ち解けられ、朝から仲良く元気いっぱいだった。モンゴルに着き外に出ると少し肌寒かった。ここがモンゴルか、そこまで実感は湧かなかった。列車での移動がバスに代わり10時間近くか

けてドルノゴビへ向かった。空港から離れていくにつれ、建物は無くなり、明かりも消え、ただ草原だけが広がっていた。夜ご飯を食べるために外へ出ると、とても風が冷たかった。一面の草原、冷たい風、動物たちの糞、初めてモンゴルを実感した。歩いて、歩いても変わらない景色、どこまでも広がる草原に感動が止まらなかった。



ドルノゴビに着いたときは真夜中だった。朝から晩までの移動で疲れ果てていた。しかしこの日一番の感動があった。それはドルノゴビの学生さんたちの出迎えだ。真夜中だったのにずっと待っていてくれて私はとても嬉しかった。元気に出迎えてくれた学生さんたちを見て、私の疲れは吹っ飛んでいた。ゲルキャンプに到着しキャリーバッグをゲルまで運ぼうとすると、私たちが運びますと言って学生さん達が運んでくれた。その優しさがとても嬉しかった。モンゴルの方はなんて優しいのだ。そう思った。

そして初めてのゲル宿泊。ドキドキが止まらなかった。疲れは吹っ飛んでいたと思っていたが、ベッドに座ると1日中移動した疲労が一気に襲ってきてこの日は少し友達と話して眠りについた。

3日目、朝の体操から始まった。日本のラジオ体操みたいなやつだと思っていたら、ノリノリの曲で可愛い振り付けで楽しい体操だった。そして朝食を食べ終え、寺院へ向かった。学生さん達が寺院でのマナーや、良い写真スポットを教えてくれた。ここでもまた学生さん達の優しさに感動したことがあった。それは、紫外線が強いからと言って日傘をさしてくれたことだ。どこまで優しい人たちなのだ。強く思った。



ゲルに戻り昼食を終えると、午後は私が一番楽しみにしていた乗駱駝体験!!馬以外の動物に乗ったことはなかったのでワクワクだった。そしてついに駱駝に乗る時が来た。駱駝が立つ時と座る時は少しスリルがあった。だが、駱駝が完全に立ち上がり歩き始めると、素晴らしい景色が広がっていた。一面草原の中、駱駝に乗りながらたくさんの駱駝の間を通り抜け爽快な気持ちでいっぱいだった。ゲルに戻ってからも写真を見返して、駱駝に乗ることができた嬉しさを感じていた。

そしてこの夜、学生さん達との距離が一気に縮まる日となった。氷鬼ごっこをして草原の中を走り回りまわった。こんなに気持ちのいい鬼ごっこは初めてだ。その後全員でキャンプファイヤーをした。学生さんと踊ったり、日本の友達と日本で流行しているネタを見せたりした。そして輪になって座りたくさんの歌を歌った。キャンプファイヤーが終わり学生さん達と少し外に残り恋バナをした。言葉は分からなくても歌やダンスで一つになれるし、恋バナもノリでなんとかなった。この夜の時間でとても仲良くなる事が出来たと同時に、別れの悲しさ



も出てきた。

4日目、博物館、歴史館に行った。ここで分



かったことは日本とモンゴルは昔から交流があり、仲が良いことだ。そして私が今まで習ってきたモンゴルの歴史と繋がり面白かったのを覚えている。

午後は第五高校との交流だ。ソーラン節は少し失敗もあったけど、高校の方達も一緒に声を出してくれて笑顔と活気あふれる私達らしい最高のステージになったと思う。歌は全員で手を繋いでひとつにまとまる事ができた。

そして夕食。ドルノゴビの高校生と一緒に食べることができる最後のご飯だ。たくさんたくさん喋った。お互いにつたない英語でもずっと喋っていた。食べ終わりバスに乗った。一番後ろは5人席だが、私達3人とドルノゴビの高校生3人、6人で座った。駅に着くまでの間たくさんの思い出話をした。そして駅に着いた。最後まで優しくかった。キャリーバッグをバスから降りた後ずっと運んでくれた。荷物を部屋に運び急いで外に出た。絶対に泣かないと思っていたのに涙が止まらなかった。抱き合って別れを惜しんだ。列車に乗り窓を開けると、ついに発車の音が鳴ってしまった。列車が発車すると走って追いかけてきてくれた。別れはとても辛かったが、最高の出会いとなった。

5日目、デパートでお土産を買う時間は楽しかった。とても広くて時間が全然足りなかったが、たくさん買い物をすることができた。

広場では、結婚式を終えた方達が居てすごく綺麗で憧れた。夜ホテルでお土産をつめようとする、あまりに買いすぎてパンパンになった。日本と物価が違うので、想像以上に買っていたことがびっくりだった。



最終日、モンゴルに別れを告げた。モンゴルではたくさんの経験、発見、人と出会えた。この交流事業に参加できたことは私の一生の思い出だ。モンゴルが大好きだ。絶対にまたモンゴルへ行く!!!!